

第3章 プログラム実施スケジュール

第3章 プログラム実施スケジュール

1. 年間スケジュール

今年度からは受け入れプログラムでは、2週間に渡り、千葉大学学生との授業作成、研究室交流、地域の学校での研究・文化交流等を行うトライアルコース、2か月以上の長期にわたって研究室での共同研究を中心とし、授業作成や地域の学校訪問も行うロングコースに加え、科学実験や基礎実習のコースワークによるショートコースを新設し、計3コースを実施した。また新たにチェンマイ大学とサンカルロス大学がツインクルコンソーシアムへ加盟した。

表1 平成27年4月～12月のスケジュール

月	募集・授業 受入・派遣	コンソーシアム会議	活動成果報告	その他
4	大学院ガイダンス(教育) 学生募集説明会×2			今年度より、各研究科コース ガイダンスでも説明会を実施 (工・理・園芸)
5	受講者確定 前期授業開始(~8月) 後期共通授業(~6月)開始			
6	学生受け入れ① (インドネシア大学、バンドン 工科大学、チュラロンコン大 学、マヒドン大学、キングモ ンクット工科大学トンブリ校)			
7	ロングコース受け入れ開始(~3月)	インドネシア大学(ネット会議)		第1回採択大学連絡会 (京都)
8	学生派遣開始(タイ及びインドネシア)※タイ派遣は情勢不安のため中断	キングモンクット工科大学トンブリ校(ネット会議)		
9	教育学部教員視察(情勢不安のため中止)	タイ4大学関係者と千葉大学学長との懇談(情勢不安のため中止)		
10	後期授業開始(~2月) 大学院説明会 学生受け入れ② (ベトナム国家大学ハノイ校、カセサート大学、ガジヤマダ大学、王立ブンベン大学、ウダヤナ大学、ボゴール農業大学)			
11		ガジヤマダ大学(千葉大学)		サンカルロス大学とのコン ソーシアム参加協議 (サンカルロス大学)
12		チュラロンコン大学・在タイ 日本大使館での会議		チェンマイ大学とのコンソー シアム参加協議(千葉大学)

千葉大学の学生を派遣する前に、トライアルコースならびにショートコースの受け入れを実施することを原則とし、連携大学の都合等も勘案して6月にインドネシアとタイの5大学、そして10月にタイ、ベトナム、インドネシア、カンボジアの6大学の受け入れを行った。千葉大学学生にとっては、授業改善のための現地のニーズを汲み取る機会となった。さらには、現地に派遣される前にASEANの学生と交流することによって授業づくりに対する良い意味での緊張感の高まりと英語での交流の機会となった。

また派遣においては、8月にタイの4大学ならびにインドネシアの2大学へ派遣予定であったが、情勢不安によりタイへの派遣を中断・中止し後期に代替派遣を行った。

表2 平成28年1月～3月のスケジュール

月	募集・授業受入・派遣	コンソーシアム会議	活動成果報告	その他
1				ボゴール農業大学との単位相互認定に関する協議(ネット会議)
2	学生派遣(シンガポール・ベトナム) 学生派遣(インドネシア) 学生派遣(カンボジア)	ガジャマダ大学およびウダヤナ大学との現地情勢に関する会議	早期募集説明会 早期募集説明会	
3		TWINCLEプログラム全体コンソーシアム会議	派遣学生ファイナルプレゼンテーション	

後期は2月から3月にかけて、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、シンガポールへの派遣を実施した。インドネシアにおいても派遣直前に爆発事件が起こったため、一部派遣地を変更、同時期の別大学へ振替えて派遣を実施した。

派遣を実施(中止)ないしは変更する場合の基準を今年度の状況を踏まえて改訂し、8月中旬に基準に従い派遣を中断・中止し学生に説明を行った。2月の派遣変更時も、基準に沿って学生に説明を行うと同時に、各連携大学と連絡を取って最新の状況を確認するとともに、千葉大生派遣時の安全管理体制や学生規則を共有し、安全なプログラムの実施に努めた。

2. 渡航前事前授業

派遣学生は、渡航前に事前授業を受け、その中で、授業開発と英語力の向上に努めた。前期派遣学生の事前授業は5月から8月まで、そして後期派遣学生の事前授業は5月から6月まで

前期と共通で行った後、10月から再開し翌年2月まで実施した。授業日程は以下の通りである。

表3 事前授業一覧

		2 (10:30-12:00)	3 (12:50-14:20)	4 (14:30-16:00)	5 (16:10-17:40)	6 (18:00-19:30)	7 (19:30-21:00)
Common lessons for all students							
2015/5/30	Sat	Orientation	Education in ASEAN (Baba)	Perspectives of developing science lessons (Oshima)	Lesson Development 1		
2015/6/4	Thur					Lesson Development 2	
Lessons with international students							
for Chiba students to CU, KMUTT, MU, KU, UI & ITB (KU students will not come this time but in October)							
2015/6/8	Mon	ASEAN students Arrival					
2015/6/9	Tues				Lesson Development 3 with ASEAN students)	Welcome Ceremony @Seiyo	
2015/6/13	Sat	Lesson Development 4(12:50-14:20)	TWINCLE Conference(14:30-17:40)				
2015/6/17	Wed					Lesson Development 4	
2015/6/18	Thur	Presentation by ASEAN students to Japanese students					
for Chiba students to UGM, IPB, UNUD, VNU & RUPP							
2015/10/5	Mon	ASEAN students Arrival					
2015/10/6	Tues				Lesson Development 3 with ASEAN students)	Welcome Ceremony @Seiyo	
2015/10/10	Sat	Lesson Development 4(12:50-14:20)	TWINCLE Conference(14:30-17:40)				
2015/10/14	Wed					Lesson Development 4	
2015/10/15	Thur	Presentation by ASEAN students to Japanese students					
Tutorials							
		4 times (by mentors)					
Final check							
Students in the 1st period							
2015/8/3	Mon	Mock lesson 1			Safety & health education		
2015/8/7	Fri	Mock lesson 2					
Students in the 2nd period							
2016/2/6	Sat	Mock lesson 1			Safety & health education		
2016/2/10	Wed	Mock lesson 2					
Final presentation in Chiba							
2016/3/19	Sat	Preparation	Final presentation			Ceremony	

注：Common Lessons は前期・後期共通授業

授業づくりの事前授業では、科学の授業づくりがなされた。科学授業は、理系研究科及び学部学生の研究テーマを基に、その研究の良さや面白さに焦点を当てて授業作成するように指導した。科学トピックの専門的な知見からも授業を検討するために、昨年度と同様、教育学部教員が、各々の研究分野に近いトピックのユニットのメンターを担当した（表4）。

メンターおよび引率教員による指導に加え、引率教員を経由しての各派遣先大学関係者及び学生との協議や（ASEAN 留学生の協力を得て）実習高校との連絡・調整に基づいて授業作成を行った。

表4 前期各ユニットのテーマとメンター教員（中止前のユニット含む）

【前期】

ユニット	派遣大学	授業テーマ	指導教員
A	Chula タイ	Small (nano) spaces which is built up by molecules	林先生
B		Cytoplasmic streaming(原形質流動)	大和先生
C		建物の構造と安全性	木下先生
D	KMUTT タイ	How to generate a power?	山野先生
E		New type DNA analysis tool	笹川先生
F		Let's study about display	飯塚先生
G	MU タイ	Can sound cut?~ by USAD~	野村先生
H	KU タイ	about plant factory (new system of glowing factory)	大和先生
I	UI インドネシア	What is "LED"	飯塚先生
J		AI(手話認識システム)	加藤先生
K	ITB インドネシア	The relationship between earthquake and architecture	藤田先生
L		Principal and the future prospects of the oranic electronics	鶴岡先生

【後期】

ユニット	派遣大学	授業テーマ	指導教員
M	UGM インドネシア	Academic urban design for future Indonesia	梅田先生
N		Number of pixels of camera	加藤先生
O	IPB インドネシア	The mystery of the body- Analytics of DNA-	高木先生
P		Suger and Our Health (砂糖および合成甘味料の人体への影響比較と、糖鎖の人体における機能)	米田先生
Q	UNUD インドネシア	Simulated earthquakes.	木下先生
R		DNA extraction	高木先生
S	VNU ベトナム		辻先生
T		DNA extraction	辻先生
U	RUPP カンボジア	Mechanism of Fatigue	下永田先生
V	NIE シンガポール	How do you think applying to process Tomography(PT)?	山下先生

3. 成果報告会

派遣学生が自らの活動を振り返り、今後の活動に活かす機会を設けるために、2016年3月19日に成果報告会を開催した。報告会の詳細は以下の通りである。

成果報告会

日時：平成28年3月19日（土）、14:00-16:30

発表者：平成27年度前期及び後期派遣学生（14ユニット）

参加者：ASEAN 連携大学及び受入高校教員等、外部評価委員、千葉大学教職員、高校生、
高校教員（計、約190名）

発表形式：ポスター発表、パワーポイントによる1分間プレゼンテーション

言語：英語

その他：最優秀賞として「TWINCLE Award」を設けた。



文部科学省担当者・県担当部署をはじめ、学内外の教育関係者が出席



学生の説明を熱心に聴く ASEAN 連携大学関係者ら